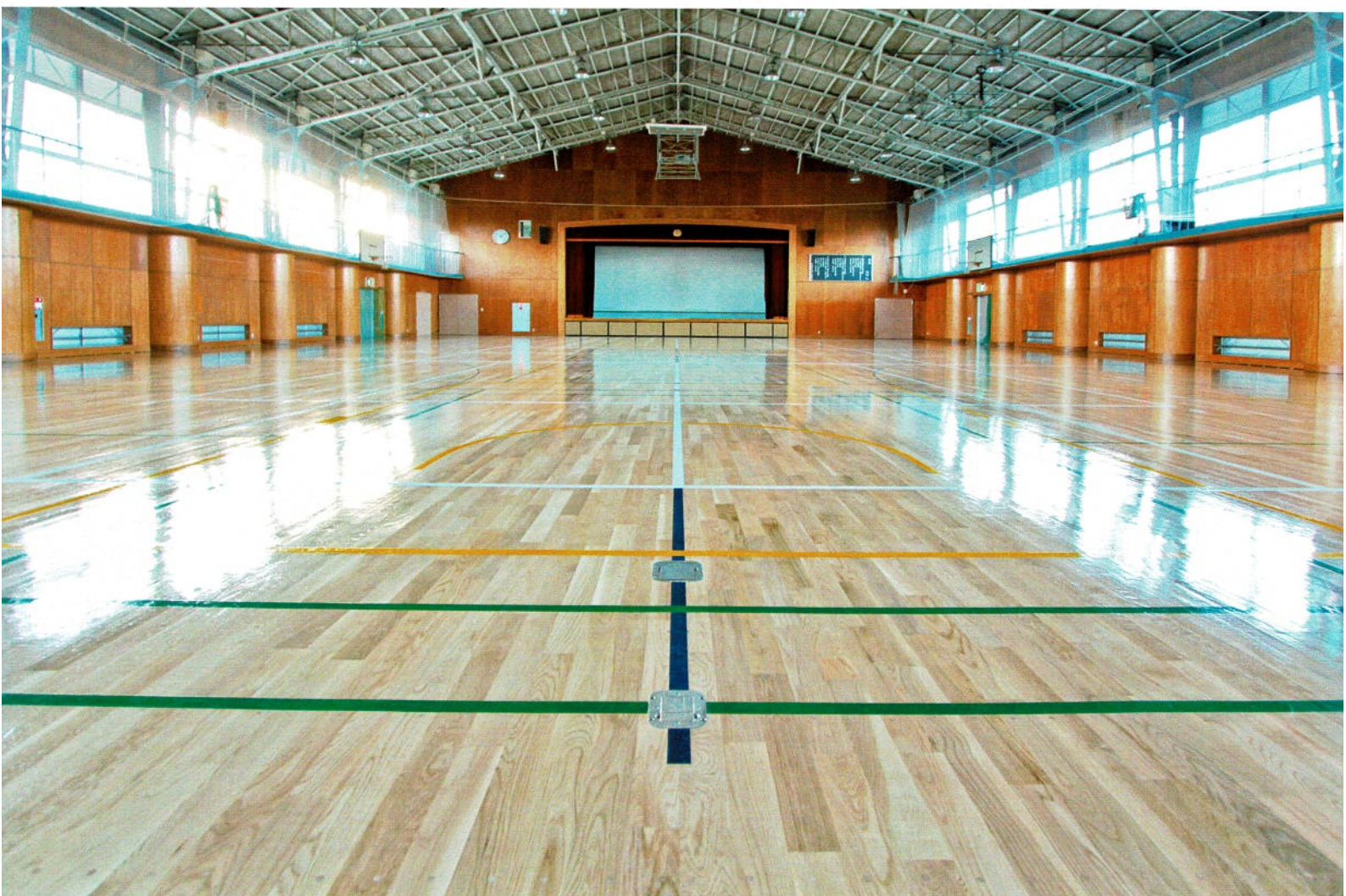


スポーツアスリートとともにあゆむSankenの施工実例 3

体育館フロア再生工事 編 (床材全面交換工事)



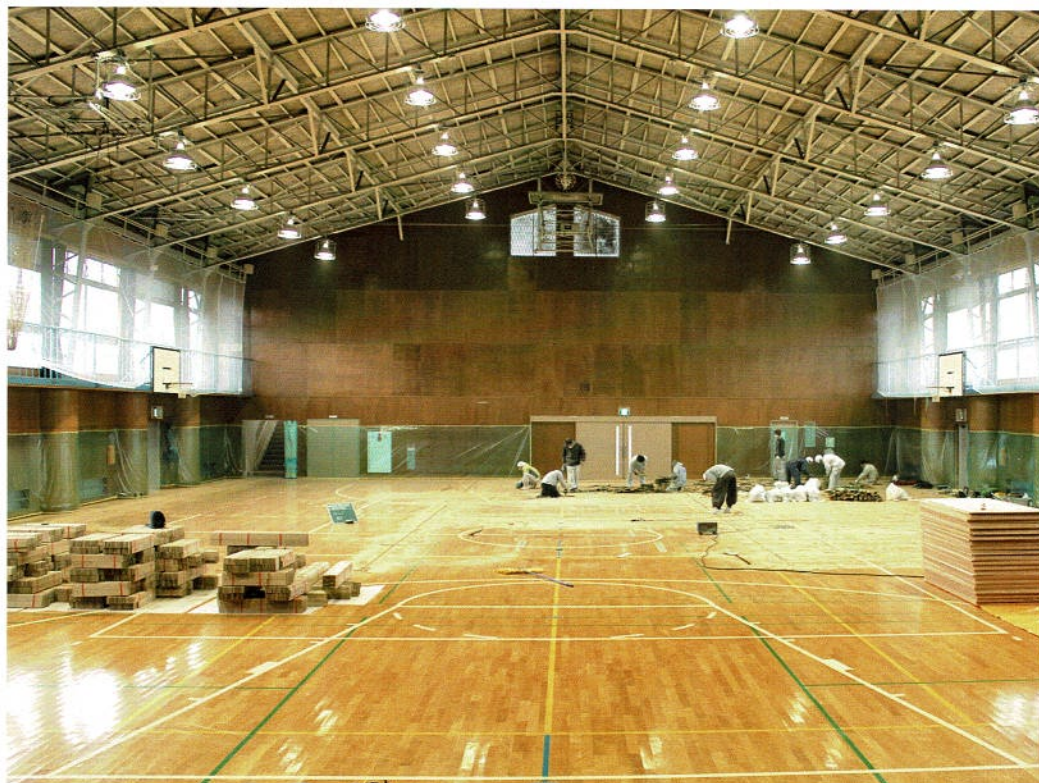
Sanken Floor Selection for any Athlete.
技術と真心で奉仕する スポーツフロアコンサルタント



体育館フロア補修のエキスパート

株式会社三建

補修工程 ①



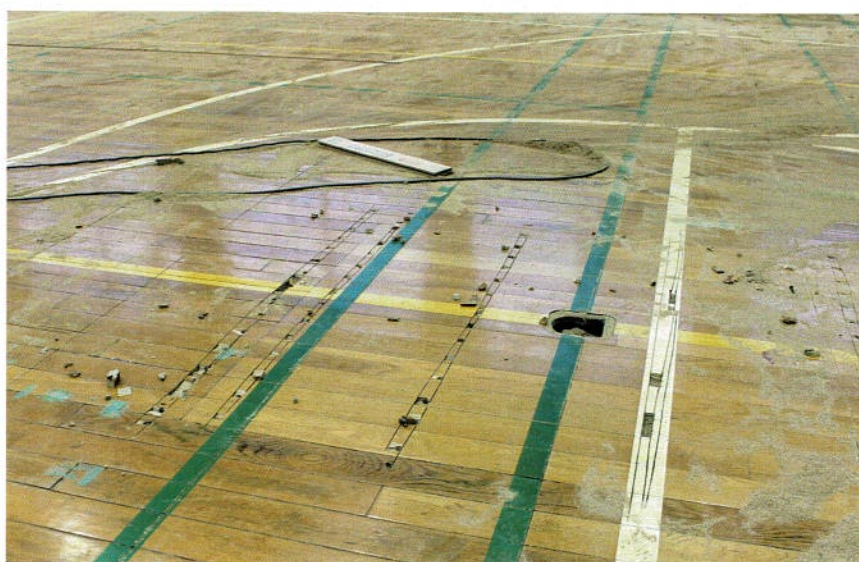
改修前点検で修繕箇所の入念なチェック

今回の現場は、公立高等学校の汎用体育館フロアです。損傷の激しい部分65%相当の床材全面交換と新ルールに合わせたライン引きまでのフロア再生工事です。

工期はおよそ30日間です。



フロア床材の剥離に着手



接合材・器具パネルを除去した剥離前のフロア状態



床材取り付けボルトは1本ずつ除去



丁寧に剥離を進めます



総掛かりの作業になります

補修工程 ②



大引きと根太



根太不足の箇所を確認



捨て張り板材の欠損 1



捨て張り板材の欠損 2



姿を見せた大引きと根太の状態を詳細にチェック

捨て張り板材撤去と平行して構造用合板を敷き詰めてゆきます

補修工程 ③



新規に張る床材下の構造用合板 (15mm厚 国産 低ホル / F ☆☆☆☆)



保存箇所を乱尺に切り欠き落とし



捨て張り板材の撤去



既存フロア材との接合部



床下のクリーニング



基礎再生工程 ④

捨て張り板を完全撤去後、構造用合板を全面に張ります



フロア材の敷き込みを進めます



接着剤を塗布して直後に敷き込む連携作業



エアータッカーでフィニッシュネイル留め



すき間なく干鳥に敷き詰める熟練の作業



壁際の合わせもピッタリ

補修工程 ⑤



千鳥に接合する



既存床との接合部



木タボでビス穴をきれいに塞ぐ



きれいに敷き詰められたフロア材

補修工程 ⑥



サンダー掛けで表面を 0.1mm単位で研磨 この工程を 3回繰り返します



金具穴は仮駒を置いて研磨します



壁際は手仕事でサンダー掛け



細部の間隙はウッドパテで処理



自走式のサンダー機で2回目のサンダー掛け



3回目の研磨終了、黒チョークが薄く研磨されているのが判ります

補修工程 ⑦



3回目の仕上げ研磨後、バフで磨き掛け



水性ポリウレタン樹脂塗料 (2 剤硬化型)



バフ磨き後、塗装前の入念な粉塵吸引除去



事前に細部は手作業で塗布



水性ポリウレタン樹脂塗料塗布前、粉塵吸引除去が終わったフロアー

補修工程 ⑧



水性ポリウレタン樹脂塗料塗布は3回掛けます



3回目の塗布後、ポリシャーで再び磨き研磨



磨き研磨後、研磨粉を除去



床金具の養生撤去



水性ポリウレタン樹脂塗料が乾燥硬化した体育館内。この後、コートライン引き作業に入ります

補修工程 ⑨



ライン用墨入れ開始



緊張のコートライン引き用のセンター決め



マスキングテープ貼り



色入れ開始



競技種目ごとにマルチラインを引く



ライン完工。クリアコーティングをさらに施します



器具穴にパネルのセット準備



ルータで溝切り。熟練の技巧が光ります



仕上がった床金具ホールとパネル



円柱ポールのパネルもぶれなく仕上げます



完工。仕上げ検査を待ちます。

会社概要

商 号 **株式会社三建**

代 表 代表取締役 浅 井 守 一

設 立 昭和 36 年 9 月 14 日

資 本 金 1,000 万円

従業員数 18 名

事業内容 内装仕上工事、塗装工事、床工事

業務内容 体育館床・教室床・一般住宅床・乾式二重床・
プール・ウッドデッキ工事、施工

許可登録 東京都知事許可（般 -28）第 36824 号

所得資格 一級内装仕上施工技能士
二級施工管理技士

主要取引先 株式会社大林組 株式会社ヤマノウチスポーツ
長谷川体育施設株式会社 東鉄工業株式会社
長永スポーツ工業株式会社 浅沼組株式会社
明石木材株式会社

取引銀行 みずほ銀行 世田谷支店
三井住友銀行 学芸大学駅前支店
きらぼし銀行 学芸大学駅前支店
城南信用金庫 碑衾支店

加盟団体 東京商工会議所会員
（一財）日本体育施設協会 屋内施設フロア部会
（一社）全国フローリング技能協会

営業エリア 全国

主な工事実績 代々木第二体育館 早稲田大学体育館
駒沢オリンピック公園 日本体育大学体育館
アメリカ大使館 東京大学体育館
東京都立体育館 横浜文化体育館
昭和女子大学体育館

所 在 地 〒154-0003
東京都世田谷区野沢 3-3-17
TEL : 03-3410-8161
FAX : 03-3410-8167
U R L : <http://www.sanken-floor.com/>
e-mail : sanken@aioros.ocn.ne.jp